

グリーンフィールドの スーパーシティから始まる 未来社会をめざして

－ ヒアリング資料 －

2021年5月20日
大阪府・大阪市

第 1 章

総論

大阪のスーパーシティは、2つのグリーンフィールドで、3つのプロジェクトを実施し、 大阪全体のスマートシティ（ブラウンフィールド）へ展開

目標

2つのグリーンフィールドから、

ブラウンフィールドへ繋げる

2023年～

夢洲コンストラクション

- ・ 390haの広大な開発を先端テクノロジーを活かして安全、**健康**、短期間に整備



2024年～

うめきた 2 期

- ・ 250万人/日が行きかう都心でみどり×IoT×**健康**による Parkness Challenge



2025年

大阪・関西万博

- ・ 世界から集う、2820万人が* **いのち輝く未来社会のデザイン**をテーマに最先端技術を体現



輝く未来社会

スーパーシティと
万博レガシーを
880万府民につなぐ

大阪府域に広がる
スマートシティ



2つのグリーンフィールド

〔 * 開催期間中（4月13日～10月13日）
における 想定来場者数 〕

『データで広がる“健康といのち”』がテーマ

2023年～

【夢洲コンストラクション】

- ① 建設工事現場内外の移動、
- ② 建設工事及び資材運搬、
- ③ 建設作業員の安全・**健康管理**
の3つの円滑化を推進

2025年

【大阪・関西万博】

(テーマ) **いのち輝く**未来社会のデザイン

(サブテーマ) 『Saving Lives (いのちを救う)』
『Empowering Lives (いのちに力を与える)』
『Connecting Lives (いのちをつなぐ)』

2024年～

【うめきた2期】

(中核機能のテーマ)

ライフデザイン・イノベーション

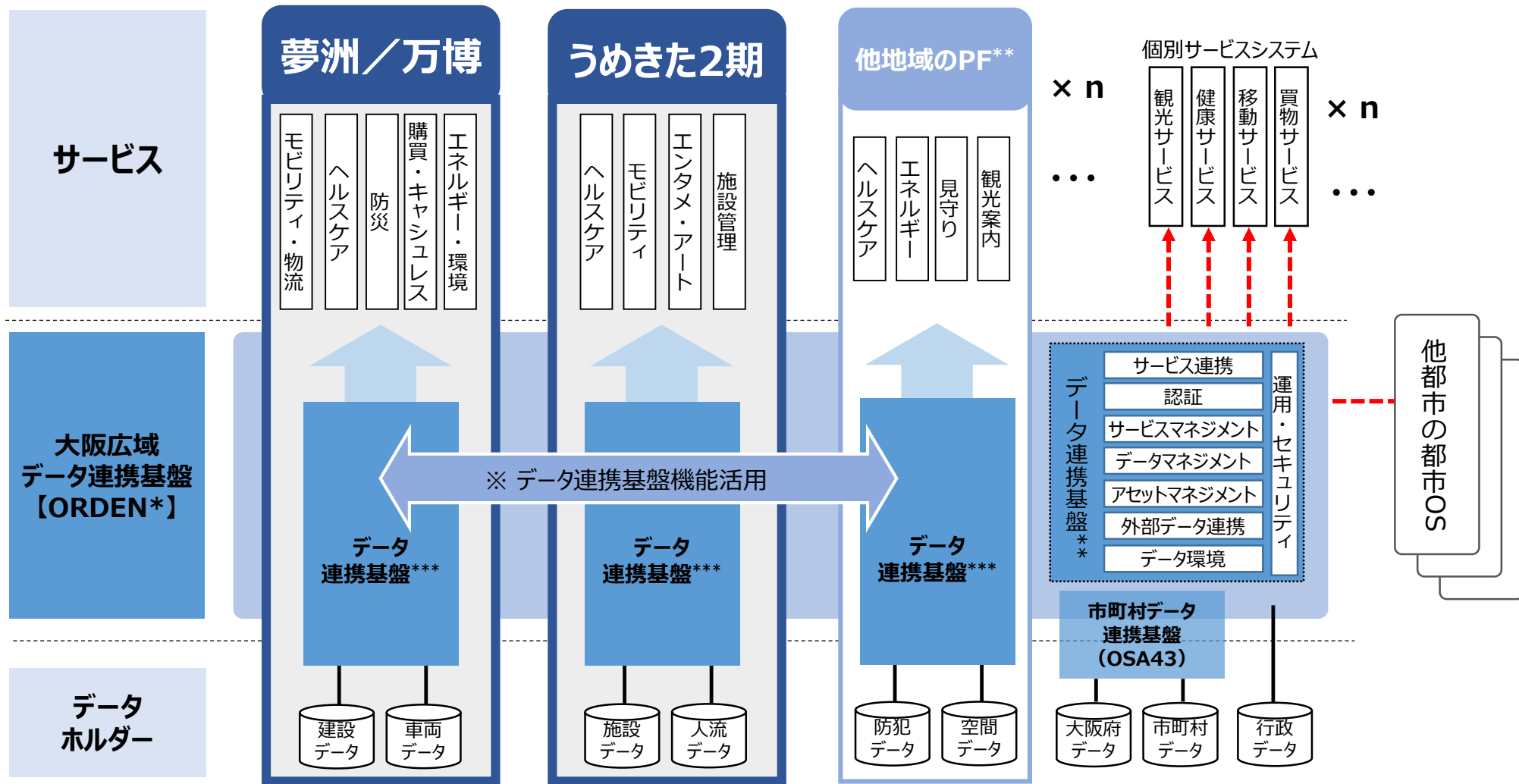
超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータ等の活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず、人々が**健康で豊かに生きる**ための新しい製品・サービスを創出

スーパーシティと万博レガシーを展開

広く大阪全体・
全国への波及

めざすは府民・市民のQoLの向上
「健康寿命の延伸」へ

2つのグリーンフィールドにおけるスーパーシティの展開を機に 広域のデータ連携基盤を構築する

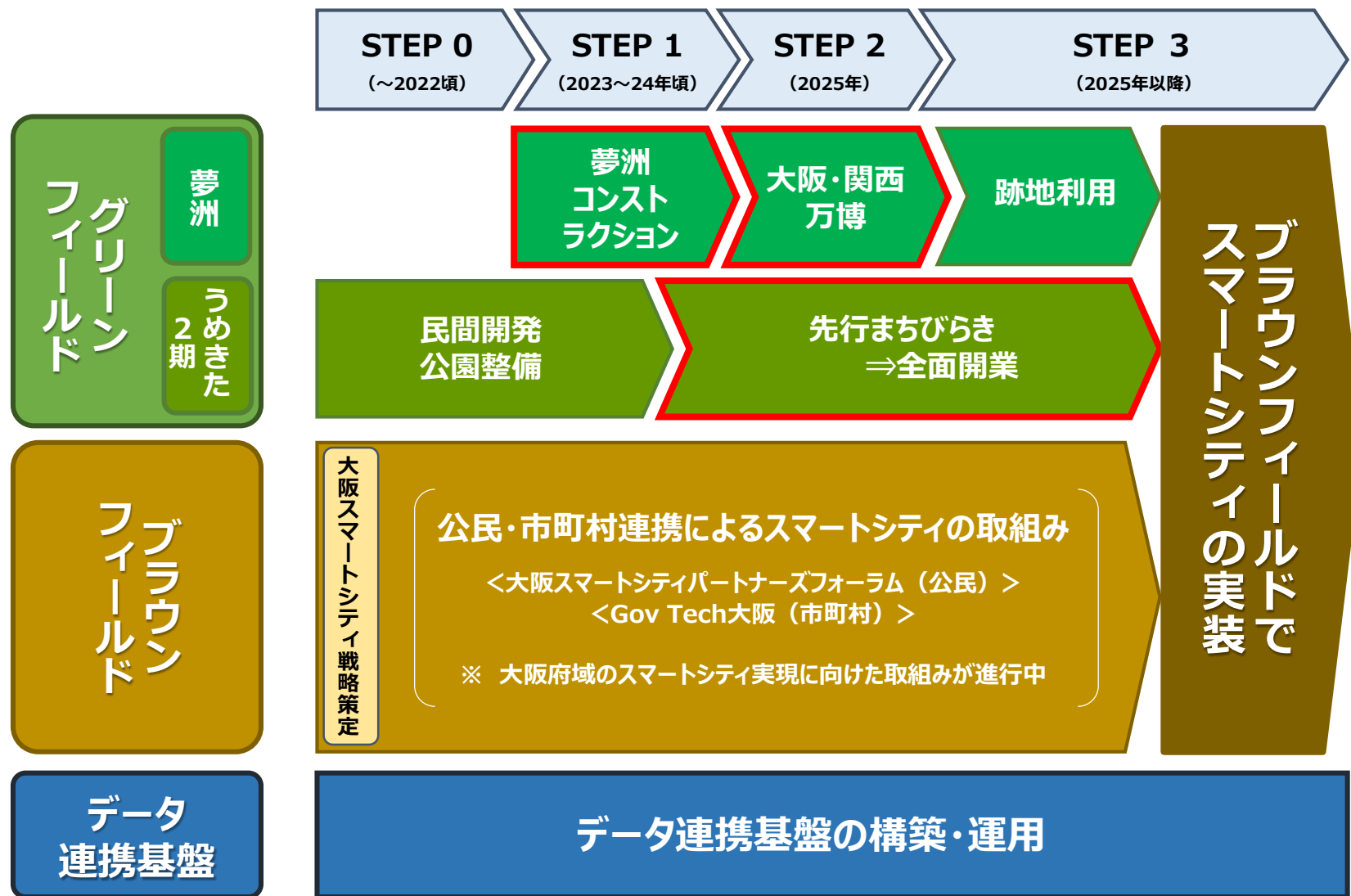


* ORDEN（オルデン）とは・・・Osaka Regional Data Exchange Networkの頭文字。

** PF：プラットフォームの略

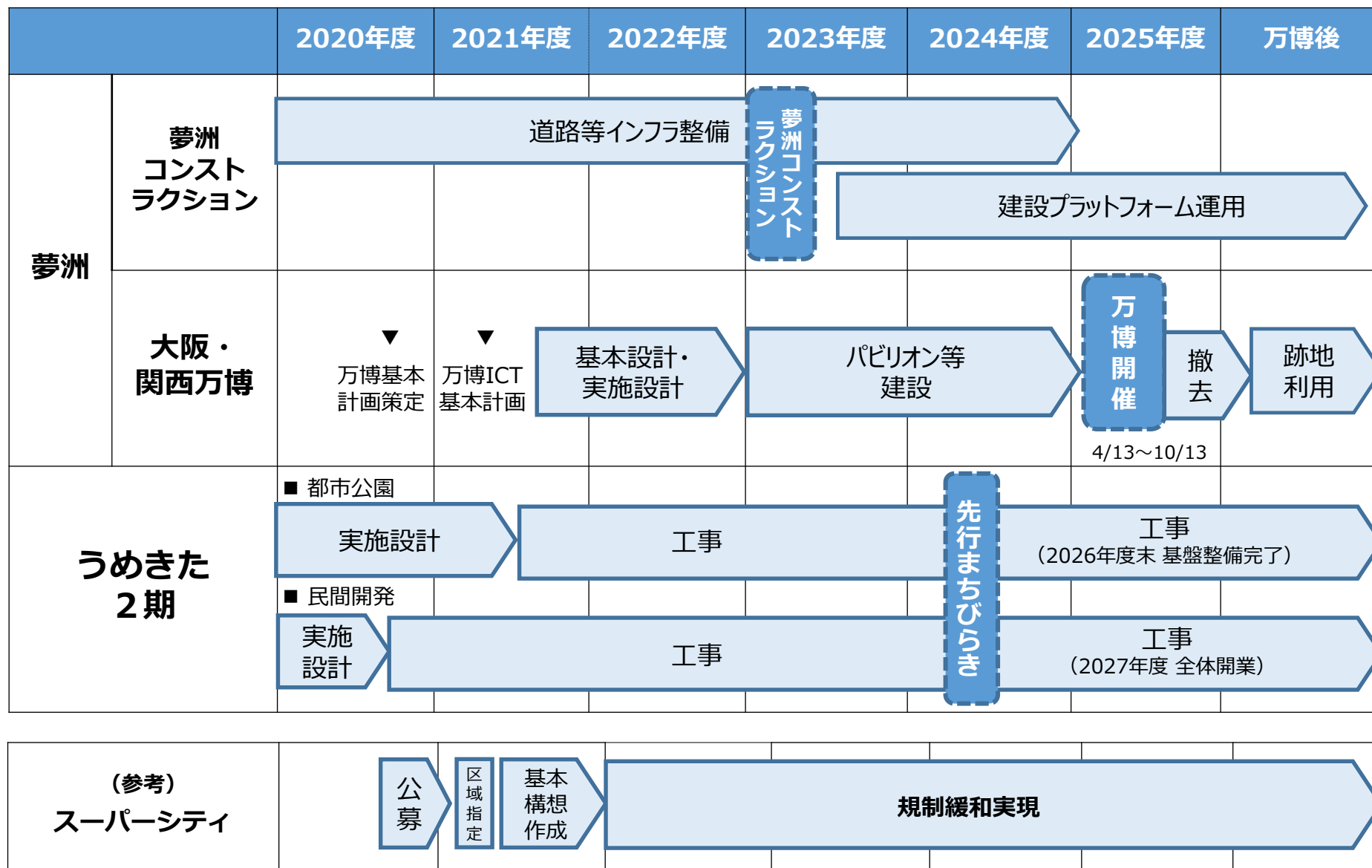
*** 本図はORDENの完成型をイメージしたもの。各PF間の接続や、これらの地区毎等のPFとORDENの接続については今後、あり方を検討していく。

- 大阪では、夢洲、うめきた2期のグリーンフィールドで先行的にスーパーシティの取組みを実装
- そこから大阪全体のブラウンフィールドへ実装し、エリアを広げていく



大阪府・大阪市のスーパーシティ全体スケジュール

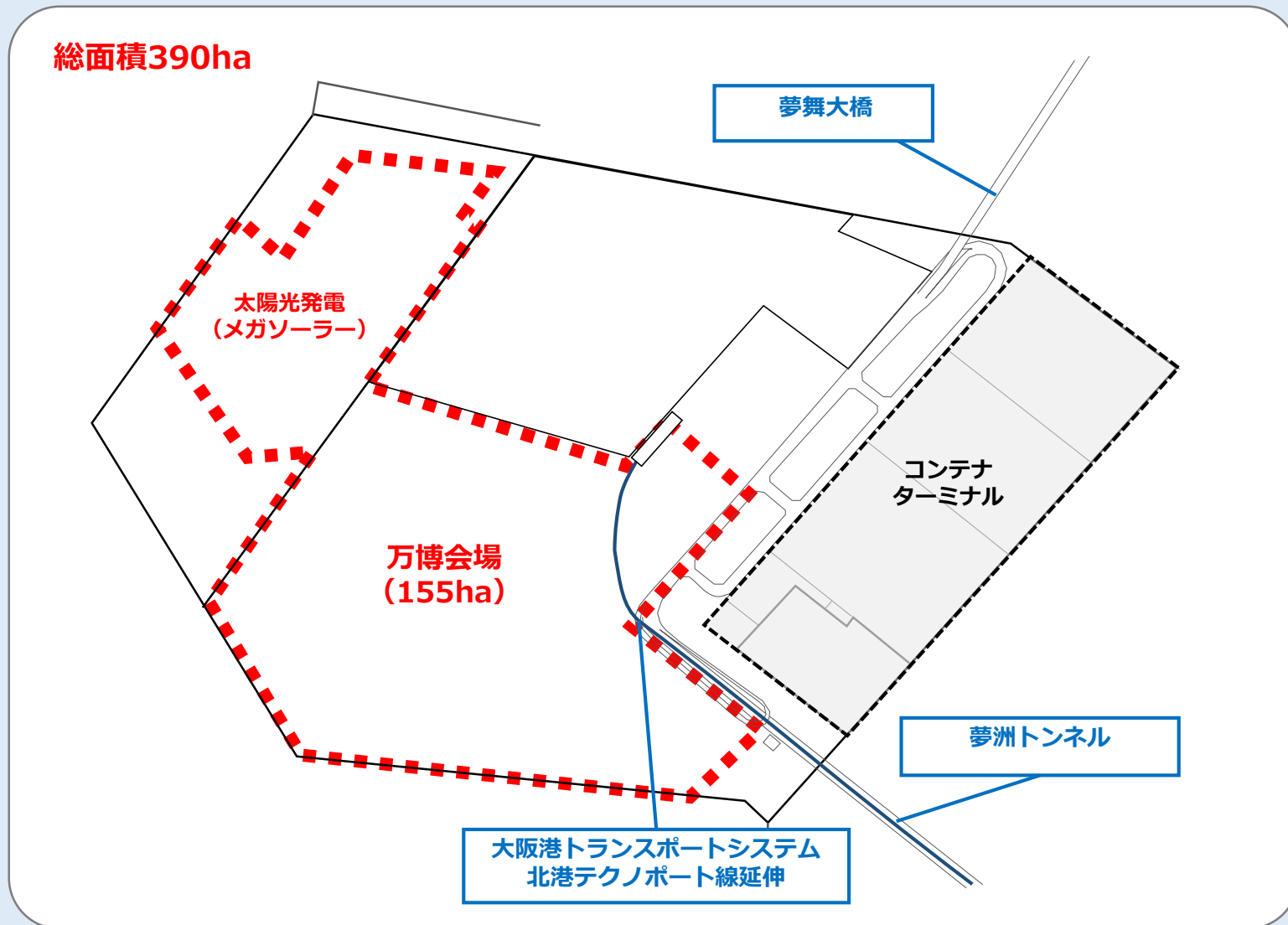
ステップ



第2章

スーパーシティの具体的取組み

夢洲コンストラクション



夢洲の現状

- 夢洲は総面積約390haで現在埋立中。全く新しい大規模なまちづくりが可能な用地
- 東側は高水準のコンテナ物流拠点として既に供用
- 西側の廃棄物埋立処分場の一部には大規模太陽光発電が設置

万博会場建設工事の状況と制約

夢洲へのアクセスルート

- アクセスは夢舞大橋と夢咲トンネルの2つ
- 鉄道（北港テクノポート線）の延伸工事と万博会場建設工事が同時並行で進行

広大な建設現場

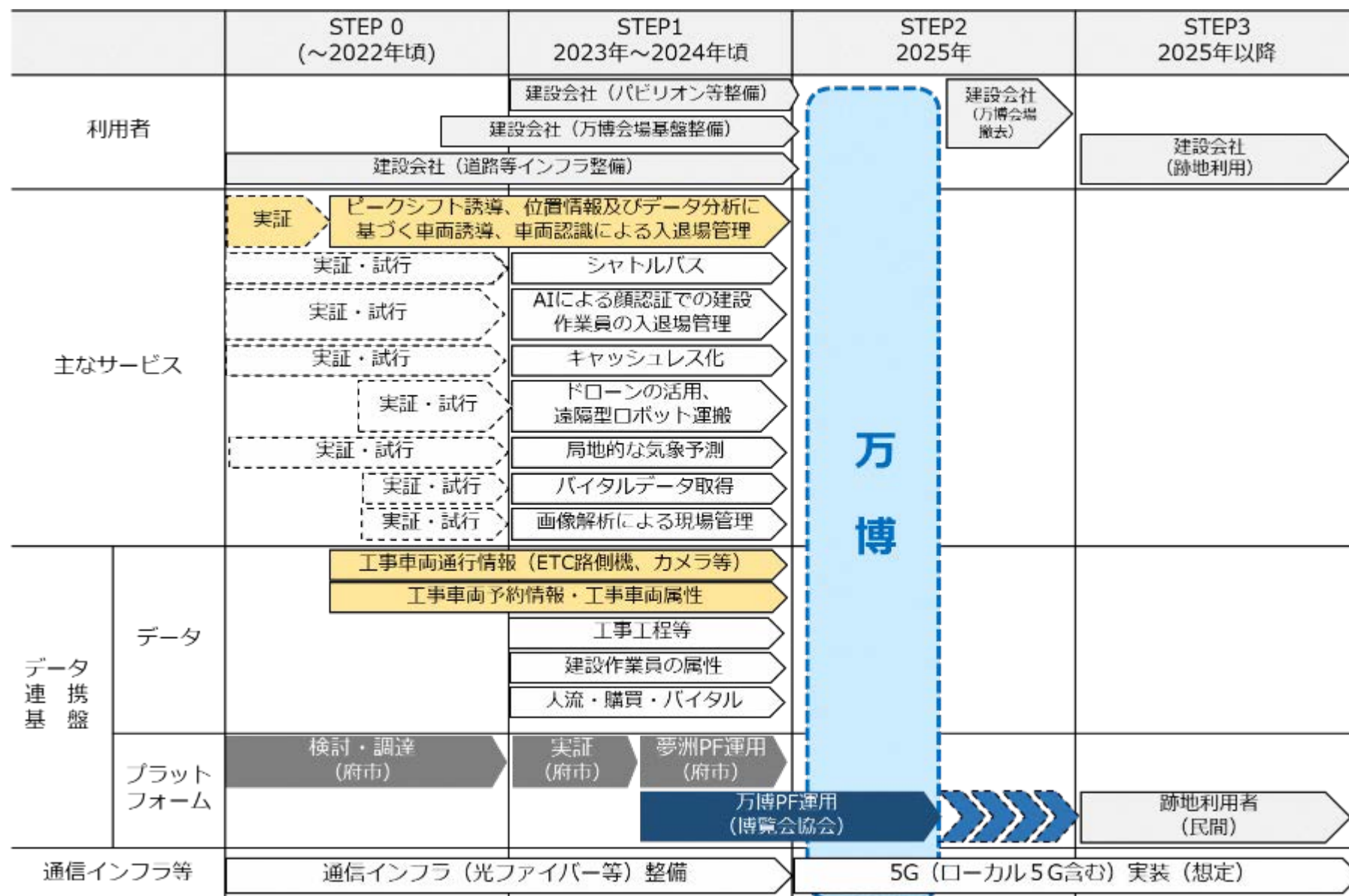
- 万博会場は約155haで広大
- 夢洲周辺でも、橋梁拡幅や高架道路等を実施

多様な建設主体

- 道路等を整備する行政、電気・ガス等の企業体
- 万博会場内では博覧会協会、企業館を整備する民間企業、外国パビリオンを整備する出展者など

夢洲でのスーパーシティに向けた取り組み

- 従来、建設主体の各工区データは、各工区で管理しサービスも各工区で実施
- 夢洲ではデータ連携基盤の導入により、データの境界とサービスの境界を越えた新たな先端的な建設プロジェクト「**夢洲コンストラクション**」を実施
- **建設工事現場内外の移動、建設工事及び資材運搬、建設作業員の安全・健康管理**の3つの円滑化を推進

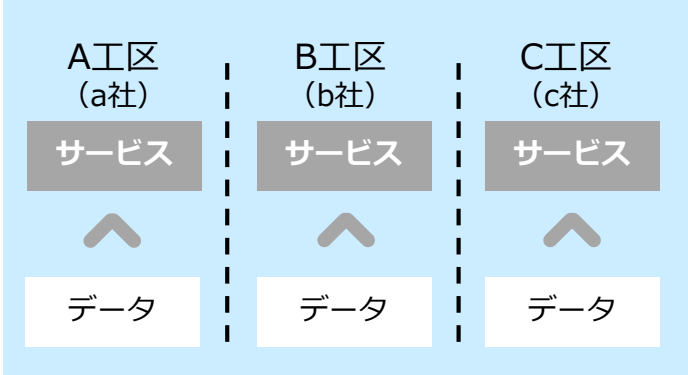


- 複数の建設企業が多数の工区に分かれて建設工事を実施

データの境界とサービスの境界を越えた新たな先端的な建設プロジェクト

夢洲コンストラクション

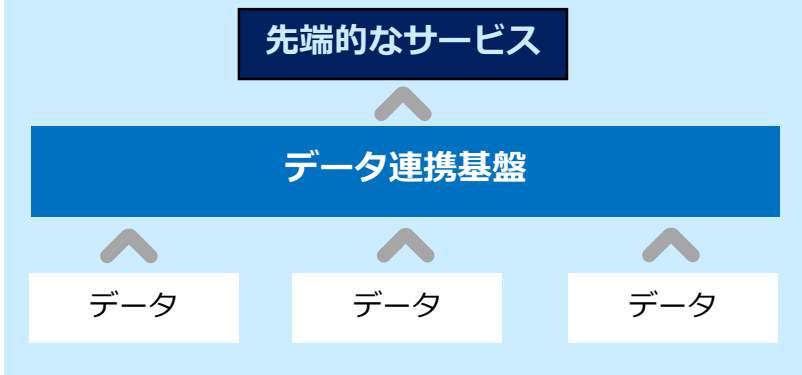
現状



各工区のデータはそれぞれが管理、サービスも各工区それぞれ実施

データ連携基盤の導入

データ連携基盤の導入



データ連携基盤により各工区のデータを連携し、各工区共通の先端的なサービスを実施

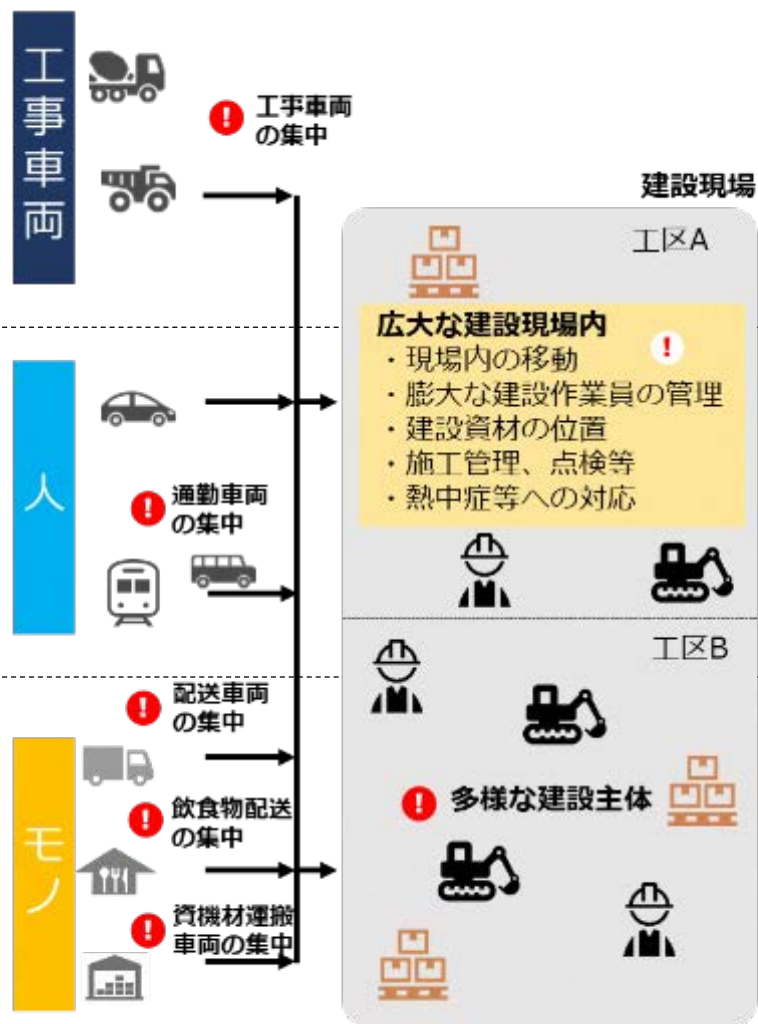
建設工事現場
内外の移動

建設工事・
資材運搬

建設作業員の
安全・健康管理

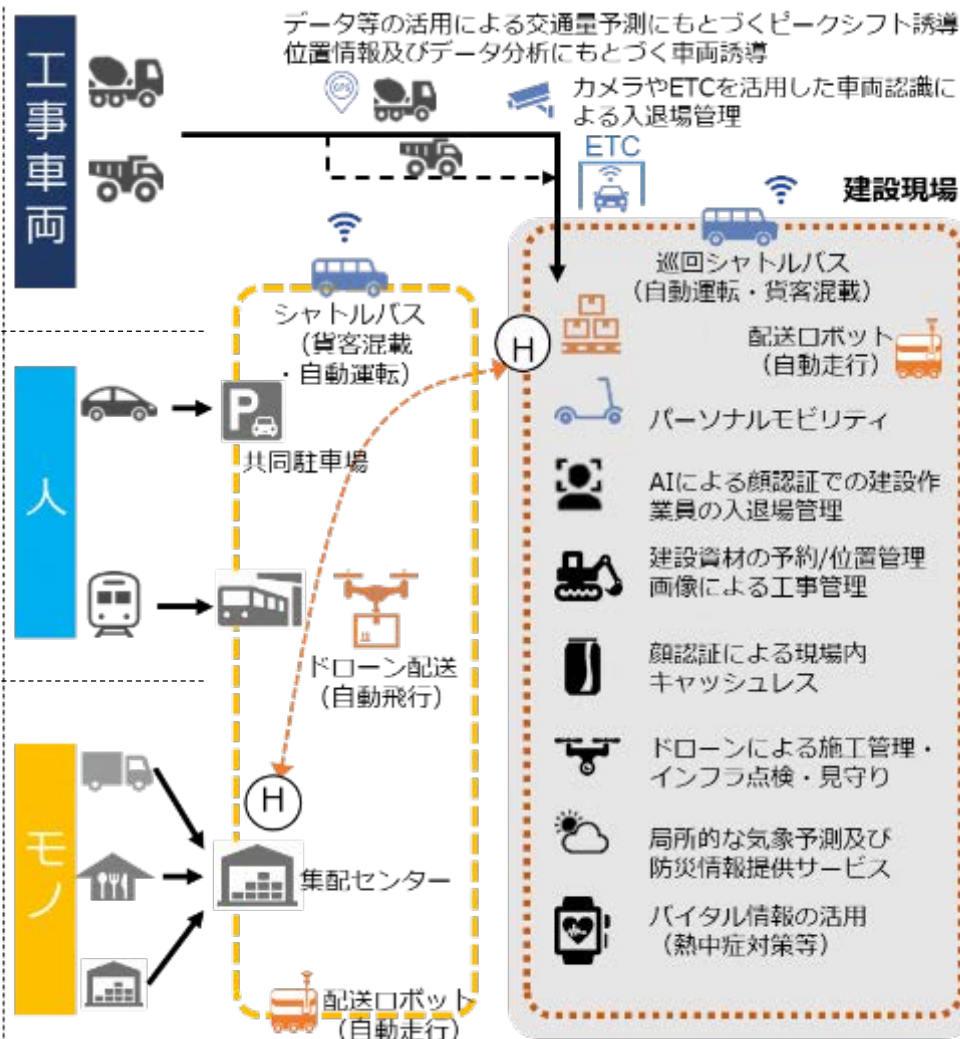
現状

各工区のデータはそれぞれが管理、サービスも各工区それぞれ実施



データ連携基盤の導入

データ連携基盤により各工区のデータを連携し、各工区共通の先端的なサービスを実施



先端的サービス	先端的サービス（詳細）
1.建設工事現場内外の移動の円滑化	①データ等の活用による交通量予測にもとづくピークシフト誘導
	②位置情報及びデータ分析にもとづく車両誘導
	③カメラやETCでの車両認識による入退場管理
	④建設作業員を対象としたMaaSの導入
	⑤ETC等を活用した共同駐車場の運用
	⑥駅及び共同駐車場からのシャトルバス・デマンドバスの運転管理
	⑦建設工事現場内及び夢洲内でのパーソナルモビリティの導入
2.建設工事及び資材運搬の円滑化	⑧BIM/CIM等を活用した建設工事の効率化
	⑨デジタルツインによる建設作業員の位置・分布把握
	⑩データ及びセンシングによる局所的な気象予測及び防災情報提供
	⑪ドローンを活用した測量・工事管理
	⑫ドローンによる建設現場の見守り
	⑬シャトルバスを活用した資材運搬（貨客混載）
	⑭遠隔型自動運転ロボットを用いた道路走行による物資運送
3.建設作業員の安全・健康管理の円滑化	⑮ドローンによる資材等の運搬、作業現場域内の高所等への資材配送
	⑯AIによる顔認証での建設作業員の入退場管理
	⑰顔認証による建設現場内のキャッシュレス化
	⑱バイタル情報及び位置情報によるリアルタイムでの安全・健康管理
	⑲建設現場での遠隔診療・遠隔投薬
	⑳建設資機材の位置情報及びカメラ画像を活用した建設現場の安全管理
	㉑AI映像解析を活用した建設現場の安全安心の実現支援

大阪・関西万博

テ
ー
マ

【テーマ】 いのち輝く未来社会のデザイン

【サブテーマ】 『Saving Lives（いのちを救う）』
『Empowering Lives（いのちに力を与える）』
『Connecting Lives（いのちをつなぐ）』

事
業
コ
ン
セ
プ
ト
・
手
段

【事業コンセプト】 People's Living Lab（未来社会の実験場）

世 界 と の 共 創

公式参加パビリオン

公 式 行 事

テ ー マ 実 践

テーマ事業

「TEAM EXPO 2025」
プログラム

テーマフォーム

日本館

自治体等の出展

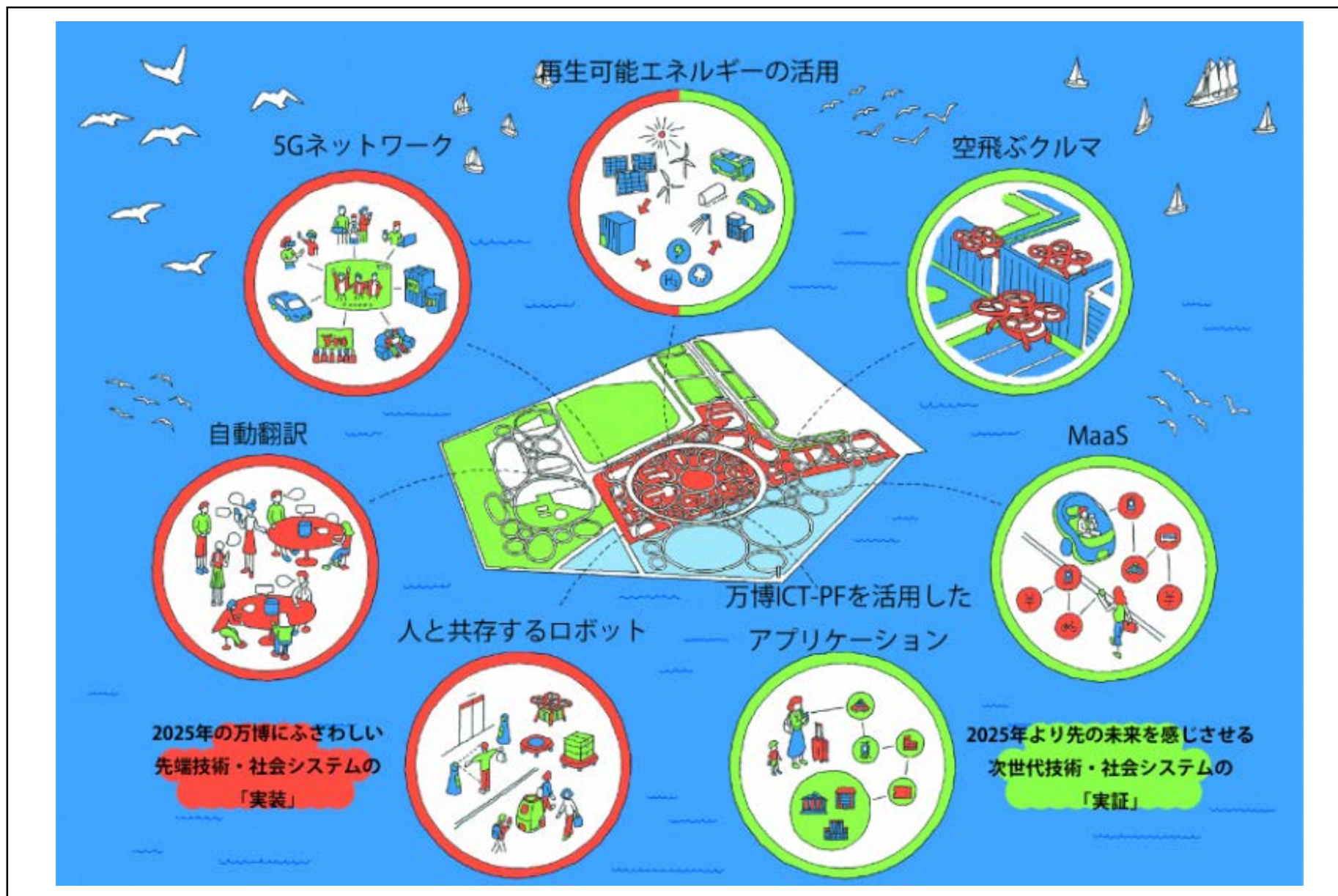
民間パビリオン

催 事

未来社会ショーケース

未来社会
ショーケース事業

バーチャル万博



万博では未来社会のショーケース事業を展開し、 そのレガシーを大阪全体のDX化に展開していく

- 万博会場は新たな技術やシステムを実証する場。多様なプレイヤーによるイノベーションを誘発して社会実装につなげる。
- 大阪・関西万博の理念・成果をレガシーとして継承していく。

検討テーマ	検 討 中 の 事 業 内 容 例
会場設計	Society5.0実現型会場にふさわしいチケットング、MaaS（マース）、自動運転等の各種サービスを連携させる情報通信共通基盤（万博ICT-PF（プラットフォーム））や、来場者等の認証方法、セキュリティ、バックアップ等を確保するためのオペレーティングシステムの導入・活用をめざす。
環境・エネルギー	カーボンニュートラル、エネルギーを最適化する技術、水素エネルギー技術のショーケースとしての導入をめざす。
移動・モビリティ	外部アプリとの連携等を通じて、万博会場外の公共交通や会場内のモビリティ、チケット購入等の関連サービスを組み合わせた検索・予約・決済等や、会場内の情報、周辺の観光情報等を、AIを活用し最適化し提供するアプリの構築を検討する。また、次世代モビリティとしての利活用が期待される空飛ぶクルマにより来場者に新たな移動体験を提供することをめざす。
情報通信・データ	Society5.0実現型会場の重要インフラであるネットワークとして、高速・大容量、低遅延、多数同時接続の5G等ネットワークの整備を進めるほか、技術の進展に伴う新たな技術要素の導入もめざす。
会場内エンターテインメント	リアルとバーチャルの融合を活用した、未来のエンターテインメントの実現をめざす。
その他	清掃、ごみ運搬、物流、モビリティ等、実用化が進んだ分野の人と共存するロボットや言語の壁を感じさせない環境を実現する自動翻訳技術等の導入をテーマ横断的に検討する。また、科学技術・イノベーション、宇宙、海洋等の分野において様々な官民プロジェクトが今後進んでいくことを踏まえ、それらのプロジェクトの万博会場における実証をめざす。

※万博の事業で阻害要因となる規制については積極的に規制緩和を進める。

【出展参加のテーマ】 メインテーマ：REBORN（リボーン）

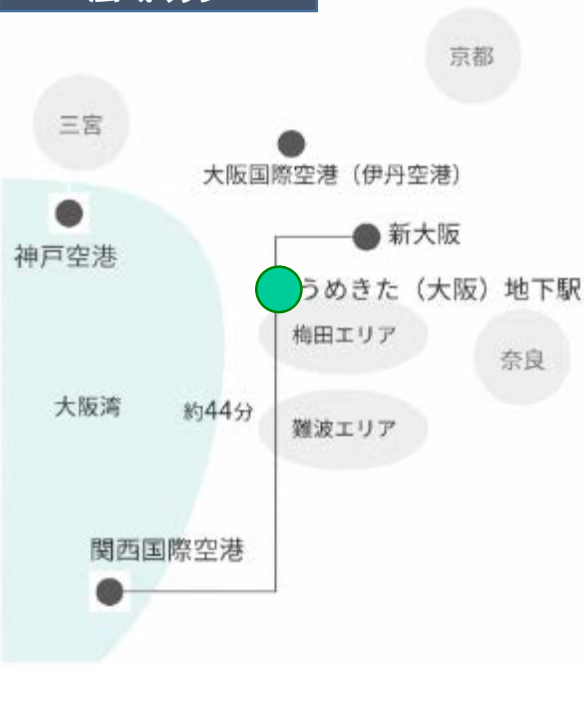
このテーマには“「人」は生まれ変わる”、“新たな一步を踏み出す”という意味が込められている



うめきた 2 期

- 都心の一等地であるうめきた2期地区（約17ha）に、約8ha（都市公園約4.5ha含む）の「みどり※」を新たに創出し、「みどりとイノベーションの融合拠点」の形成をめざす。

広域マップ



詳細マップ



出典) うめきた2期HP <https://umekita2.jp/>

※ 単にまちの中に公園や緑地を確保することにとどまらず、未来に向けた都市や人間と自然、環境との新しい関係性を構築し、比類なき魅力を備え、都市の文化となる新しいまちづくりの概念「うめきた2期区域まちづくりの方針（都市再生緊急整備地域協議会大阪駅周辺地域部会において策定）より」

- 大阪駅周辺地区についてはH14年度都市再生緊急整備地域、H23年度特定都市再生緊急整備地域に指定されており、梅田貨物駅の跡地を土地利用転換し、民間開発を誘導
- 大阪駅周辺において地下・地上・2階レベルでの重層的な歩行者ネットワークを形成し回遊性を向上

まちの約半分を「みどり」が占める

うめきた2期

- ・ 開発事業者9社
- ・ 地区別状況

①北街区

- ・ 新作業創出と産学官民の交流ゾーン
- ・ 主な用途
 - 商業 約0.3万㎡
 - 中核 プラットフォーム施設、イノベーション施設など
 - 宿泊 ライフスタイル型
 - 居住 約600戸

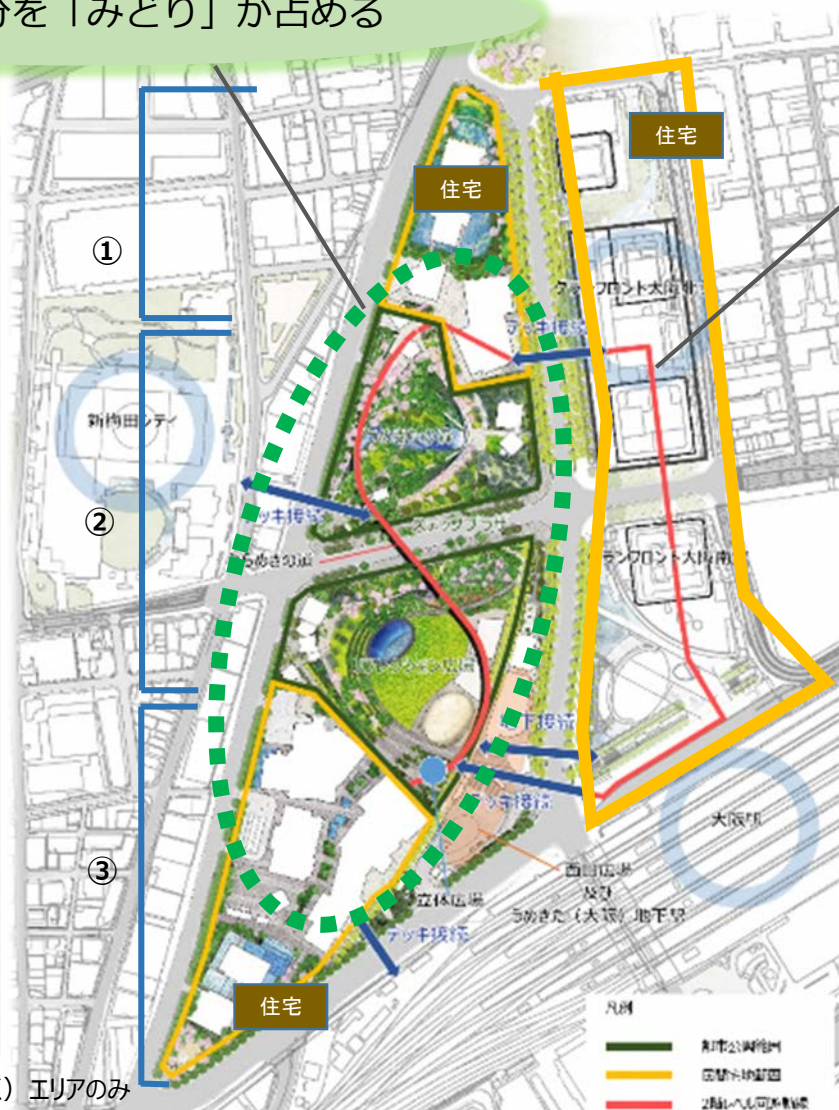
②都市公園

- [北部分]緑豊かな憩いのゾーン
- [南部分]広場を中心に人が集まる賑わいゾーン

③南街区

- ・ 高度複合都市機能集積ゾーン
- ・ 主な用途
 - 業務 約11万㎡
 - 商業 約1万㎡+都市型スパ
 - 中核 MICE施設
 - 宿泊 スーパーラグジュアリー型
 - アップスケール型
 - 居住 約600戸

- ・ 年間約2300万人の来場者を想定



先行開発区域（1期）

（グランフロント大阪）

- ・ 開発事業者12社
- ・ 2013年4月まちびらき
- ・ 年間約5000万人が来場
- ・ 主な用途
 - 業務 約23万㎡
 - 商業 約8万㎡
 - 宿泊 インターコンチネンタル
 - 住宅 約500戸
 - ナレッジキャピタル 約8万㎡

※民間開発事業者資料等をもとに市作成。
2020年 12月時点のイメージ図であり、今後変更の可能性があります。【提供者：うめきた2期地区開発事業者】

スケジュール

うめきた 2 期

		STEP 0 (～2022年頃)	STEP1 2023年～2024年頃	STEP2 2025年	STEP3 2025年以降
利用者		インフラ整備（都市公園・道路など）			
		うめきた（新駅）整備	新駅開業	来街者（買物客・観光客・府民・市民）	
				企業・オフィスワーカー	
主な 先端的サービス				※その他、パートナー事業者に応じて追加するサービスあり	
		サービス内容検討	実証	1 ヒューマンデータ利活用に資するプラットフォームの提供	
		サービス内容検討・公道実証		2 パーソナルモビリティのシェアサービス	
		サービス内容検討・実証		3 施設管理・配送などのマネジメント高度化	
		サービス内容検討・実証		4 Parkness実現のためのDX推進【プレイスメイキング（B2C）】	
		官民体制の検討・実証		5 Parkness実現のためのDX推進【実証実験空間（B2B）】	
データ 連携 基盤	データ			施設・環境データ	
				人流データ	
				購買・利用者データ	
				ヒューマンデータ	
				外部データの利活用も想定	
	ローカルプラットフォーム	検討・調達・整備		うめきた 2 期データプラットフォーム運用（民間）	
通信インフラ等		5G（ローカル 5G含む）実証		5G（ローカル 5G含む）実装（想定）	

先行まちびらき（2024年）

ICTを活用し、「みどり」を活用したサービスを行い、
うめきた2期のまちの付加価値を高めていく

付加価値を
高めるービス

みどり×IoT×健康による Parkness Challenge

(行動変容のきっかけづくり・五感を刺激する体験の共有など)

基礎的
サービス

情報伝達（日常・災害時）

移動（域内・域外）

施設管理、エネルギー、防災・防犯・安全 など

「みどり」の空間が形成されるエリア

都市機能 ユーザー	「みどり」の空間が形成されるエリア					居住 (分譲マンション)
	中核 (新産業創出)	業務	公園	商業	宿泊	
域内居住者						
来街者 (日帰り・宿泊)						
来街者 (買い物)						
ワーカー						

健康のシェア

健康（未病）の維持・向上、
行動変容のきっかけづくり

育てる体験

コミュニティ形成、社会活動
への参加促進

感性のシェア

五感を刺激する体験の共有

つなぐ

都心立地を生かした
まるごとサポート

Parkness Challengeで取組む5つのサービス

- 1 ヒューマンデータ利活用に資するプラットフォームの提供
- 2 パーソナルモビリティのシェアサービス
- 3 先端技術を用いた公園内・建物内における施設管理、配送などのマネジメント高度化
- 4 リアルとデジタルの融合した都市空間 = Parknessを実現するためのDX推進
【プレイスメイキング編（B2C）】
- 5 リアルとデジタルの融合した都市空間 = Parknessを実現するためのDX推進
【屋外実証実験空間編（B2B）】

- まずは2期開発事業者が中心となってサービス事業者と連携し下記のサービス提供やサービス提供支援を検討中。
- 連携先となるパートナー事業者との今後の検討や、費用負担・収益化等の継続性等も含めた総合的な判断をふまえて、最終的なサービス内容を決定（追加含む）していく。

先端的サービス	先端的サービス（詳細）
1 ヒューマンデータ利活用に資するプラットフォームの提供	①ヒューマンデータとAI分析等によるエビデンスに基づく健康増進プログラム【図A】
	②ヒューマンデータに基づき、その精神状態に適合したエンターテインメントをリアル空間・バーチャル空間を融合した世界で提供
	③ビーコンによる日々の運動量や運動履歴、人流、位置情報等による健康増進支援
2 パーソナルモビリティのシェアサービス	④パーソナルモビリティによるエリアの回遊性やラストワンマイルの移動快適性の向上【図B】
3 先端技術を用いた公園内・建物内における施設管理、配送などのマネジメント高度化	⑤画像解析を用いた施設管理（AIカメラやビーコン、センサー等）【図C】
	⑥ICTを活用した「みどり」管理（ICT,ロボット等の活用）
	⑦ICTを活用した設備・エネルギー管理（人の位置情報や環境情報を基にスマートな設備制御）
	⑧ICT（ドローン、ロボットなど）を活用したデリバリー・点検
4 リアルとデジタルの融合した都市空間＝Parknessを実現するためのDX推進【プレイスメイキング編（B2C）】	⑨デジタルサイネージやLEDビジョン等を用いた感性をシェアする空間の創造
	⑩ミラーワールドを構築し、MR技術により現実と重ね合わせることで、絶景・癒し・ホラー等、多種多様なテーマの世界を体験できるイベントを検討【図D】
	⑪Social Goodな活動を行った会員に対し、公園で提供するサービスに利用できるポイントの発行
	⑫来街者に対する混雑状況等の提供
	⑬都市公園の行為許可・占用許可等の行政手続きのオンライン化
	⑭リアルタイム・オンラインサービスを支えるローカル 5 Gの整備
5 リアルとデジタルの融合した都市空間＝Parknessを実現するためのDX推進【屋外実証実験空間編（B2B）】	⑮先端的な技術や先駆的サービスを通じた「様々な体験価値」を市民や来街者に提供し、市民のQOL向上とライフデザインイノベーションを実現する仕組みの提供【図E】

「1 ヒューマンデータ利活用に資するプラットフォーム提供」_①【図A】

- ヒューマンデータとAI分析等によるエビデンスに基づく健康増進プログラム



■ 運動施設



■ 屋内プール

「2 パーソナルモビリティのシェアサービス」_④【図B】

- パーソナルモビリティによるエリアの回遊性やラストワンマイルの移動快適性の向上



「3 先端技術を用いた施設管理マネジメント高度化」_⑤【図C】

- 画像解析を用いた施設管理（AIカメラやビーコン、センサー等）



「4 リアルとデジタルの融合都市空間（B2C）」_⑩【図D】

- ミラーワールドを構築し、MR技術により現実と重ね合わせることで、絶景・癒し・ホラー等、多種多様なテーマの世界を体験できるイベントを検討



「5 リアルとデジタルの融合都市空間（B2B）」_⑪【図E】

- 先端的な技術や先駆的服务を通じた「様々な体験価値」を市民や来街者に提供し、市民のQoL向上とライフデザインイノベーションを実現する仕組みの提供



(参考)

先端的サービスと規制・制度改革の詳細

分野	法規制	夢洲コンストラクション	うめきた2期	大阪・関西万博*
健康系	労働安全衛生法	□ 建設現場での遠隔診療・遠隔投薬		大阪パビリオン (ミライの病院) **
	健康保険法		□ ヒューマンデータとAI分析等による健康増進プログラム	
交通系	道路法	□ データ活用によるピークシフト誘導		MaaS 人と共存する ロボット
	道路交通法	□ 遠隔型自動運転ロボットを用いた物資運送	□ パーソナルモビリティの導入	
	道路運送車両法	□ パーソナルモビリティの導入	□ 自動走行ロボットによるデリバリー・点検や「みどり」管理	
	道路運送法	□ シャトルバス・デマンドバス運転管理		空飛ぶクルマ
	航空法	□ ドローンを活用した測量・工事管理 □ ドローンによる建設現場の見守り	□ ドローンを活用したデリバリー・点検	
建築系	建築基準法	□ BIM／CIMを活用した建設工事の効率化	□ デジタルサイネージ等による感性をシェアする空間の創造	
	建築衛生法***		□ ICT（ロボット、センサーなど）を活用した設備・エネルギー管理	
その他	気象業務法	□ データ・センシングによる局所的気象予測及び防災情報提供		
	消防法		□ ICT（ロボット、センサーなど）を活用した設備・エネルギー管理	再生可能 エネルギーの活用
	電波法		□ リアルタイム・オンラインサービスを支えるローカル5G整備	5Gネットワーク

* 大阪・関西万博の先端的サービスについては、今後具体化されていくため、現時点ではあくまで想定（「2025年日本国際博覧会基本計画」より）

** ミライの病院については、大阪・関西万博に出展予定の大阪パビリオンによる先端的サービスの例（法規制については今後精査）

*** 建築物における衛生的環境の確保に関する法律



先端的サービス

法規制の壁

夢洲 コンストラクション

390haの広大な開発を
先端テクノロジーを活かして
安全、**健康**、短期間に整備

建設現場での遠隔診療・
遠隔投薬



1. 専属産業医の選任規定の要件緩和
【労働安全衛生法】

2. 産業医によるオンライン診療の緩和
【オンライン診察の適切な実施に関する指針等】

うめきた2期

250万人/日が行きかう都心で
みどり×IoT×**健康**による
Parkness Challenge

ヒューマンデータとAI分析等
による健康増進プログラム



1. データ利活用に基づく健康増進サービス
利用にかかる健康保険の適用
【健康保険法】

大阪・関西万博 (想定)

世界から集う、2820万人が*
いのち輝く未来社会のデザイン
をテーマに最先端技術を体現

大阪パビリオン*
(大阪府・市で検討中)



• 生体データや個人情報の登録・取得に関
する規制緩和 【個人情報保護法】
(上記は事例。現在精査中)

1.建設工事現場内外の移動の円滑化

No	先端的サービスの名称	対象分野	サービスの内容	関連する規制・制度改革事項（新たな規制改革の提案、既存の国家戦略特区の特例措置の活用）
①	データ等の活用による交通量予測にもとづくピークシフト誘導	移動・物流・防犯・防災・環境	・建設現場を訪れる車両を予め登録/把握し、一般交通及び物流交通を重ね合わせたトータル交通量を予測/提示することで、各現場に対し時間やルートのシフトを促す。	カメラやサイネージ等の公道設置の許可要件の明確化及び緩和【道路法等】
②	位置情報及びデータ分析にもとづく車両誘導	移動・物流・防犯・防災・環境	・スマホのGPS機能を用いて工事車両の位置情報を把握。周辺道路の混雑状況に合わせて適切な誘導を行うことで、当日の状況に応じた渋滞緩和を実現	1と同様
③	カメラやETCでの車両認識による入退場管理	移動・防犯・防災・環境	・現場ゲートカメラで車両ナンバーを照合しプッシュ通知。無予約車両は警備員がマニュアル対応し、登録と注意通知	—
④	建設作業員を対象としたMaaSの導入	移動・防犯・防災・環境	・建設工事にかかる通勤車両削減の為、共同駐車場、シャトルバス、パーソナルモビリティの一括予約を可能とするMaaSアプリを導入し、共同駐車場からのシャトルバスを一括での検索・予約・決済が可能なサービスを導入	—
⑤	ETC等を活用した共同駐車場の運用	移動・支払い・環境	・ETC等を用いた先端駐車場システムの導入により、従来の駐車場ローカルサービスから、様々なインフラ設備との連携が可能となり付加価値の高いサービスを実施	—
⑥	駅及び共同駐車場からのシャトルバス・デマンドバスの運転管理	移動・支払い・環境	・通勤車両削減の為、夢洲外に共同駐車場・バス乗降場を設置し、夢洲と結ぶオンデマンドシャトルバスサービス、各現場を運行するオンデマンドシャトルバスサービスの実施	道路占用及び使用に関わる条件、手続きや地方公共交通会議の同意取得時間の短縮【道路運送法、道路運送法施行規則等】
⑦	建設工事現場内及び夢洲内でのパーソナルモビリティの導入	移動・支払い・環境	・広大な建設工事現場内外での移動の為、パーソナルモビリティを導入	パーソナルモビリティの公道移動にかかる規制緩和【道路交通法、道路運送車両法等】

2.建設工事及び資材運搬の円滑化

No	先端的サービスの名称	対象分野	サービスの内容	関連する規制・制度改革事項（新たな規制改革の提案、既存の国家戦略特区の特例措置の活用）
⑧	BIM/CIM等を活用した建設工事の効率化	物流・環境・防犯・防災	・各建築物のBIM/CIMデータを基にしたデータ連携基盤を構築	BIM/CIMデータの取り扱いの明確化【建築基準法】
⑨	デジタルツインによる建設作業員の位置・分布把握	移動・エネルギー・環境・防犯・防災	・建設作業員の位置情報により現在位置や移動状況を把握し、AIビックデータ解析を用いた統計化・可視化により建設工事の効率向上等に寄与	—
⑩	データ及びセンシングによる局所的な気象予測及び防災情報提供	環境・防災	・高解像度気象シミュレーション×AI技術による短中期予報（3時間～7日間程度）と、観測データ×AI技術による短時間予報（～3時間）の地域限定の気象予測サービスを提供	予報自動化にかかる規制緩和、観測用気象計にかかる規制緩和、洪水等に関連する予測業務の認可の促進【気象業務法】
⑪	ドローンを活用した測量・工事管理	移動・物流・防犯・防災・環境	・大型無人航空機(最大積載量30kg)、中小型ドローンを使用した物資輸送やインフラの監視・点検を実施	人口集中地区での飛行要件、夜間飛行や目視外飛行等の規制緩和【航空法等】
⑫	ドローンによる建設現場の見守り	防犯・防災・環境	・完全自律飛行するドローンを活用し、対象敷地全体の見守りを実施。可視カメラの他、夜間でも映像取得が可能な赤外線カメラを搭載することで24時間運用が可能	11と同様
⑬	シャトルバスを活用した資材運搬（貨客混載）	移動・物流・防犯・防災・環境	・一般貸切（貸切バス）又は一般乗用（タクシー）による旅客自動車運送事業によるシャトルバス運行を想定 ・通勤時間帯以外では、作業員等の運送と併せて、物資（弁当、資材、宅配便等）の運送に活用	貨客混載にかかる規制緩和【道路運送法等】
⑭	遠隔型自動運転ロボットを用いた道路走行による物資運送	移動・物流・防犯・防災・環境	・建設資材等の倉庫から建設現場の中まで夜間人通りが少ない時間帯に公道及びみなし公道を通して資材を自律走行する自動配送ロボットなどで無人・自動搬送する。	自動運転ロボットの法的な位置づけの明確化【道路交通法、道路運送車両法】 自動運転の公道実証実験にかかる規制緩和【道路交通法等】
⑮	ドローンによる資材等の運搬、作業現場域内の高所等への資材配送	移動・物流・防犯・防災・環境	・夢洲内のデリバリーを一元集約し、ドローン等を活用して各所への配送を実施	11と同様

3.建設作業員の安全・健康管理の円滑化

No	先端的サービスの名称	対象分野	サービスの内容	関連する規制・制度改革事項（新たな規制改革の提案、既存の国家戦略特区の特例措置の活用）
⑯	AIによる顔認証での建設作業員の入退場管理	移動・防犯・防災	・顔認証登録（新規入場時登録）し、夢洲内での各々のサービスや建設キャリアアップシステムと紐づける。	—
⑰	顔認証による現場内のキャッシュレス化	支払い	・顔認証を活用したネット予約・キャッシュレス決済：昼食、飲み物などをアプリで注文し自動決済のシステムを提供。シャワー室や診療等の予約を可能とする。	—
⑱	バイタル情報及び位置情報によるリアルタイムでの安全・健康管理	医療・環境・防災	・熱中症対策 活動量×心拍数データ×滞在場所環境（温度湿度等）をもとに、注意喚起のアラートを通知	—
⑲	建設現場での遠隔診療・遠隔投薬	医療・移動・防災	・夢洲内で専属産業医の選任規定を工事全体に適用 ・夢洲内において産業医によるオンライン診療を認めるとともに、薬の処方箋発行による医薬品宅配により、建設期間中の受診・薬の受け取りを可能とする。	専属産業医の選任規定の要件緩和【労働安全衛生法】 産業医によるオンライン診療の緩和【オンライン診療の適切な実施に関する指針等】
⑳	建設資機材の位置情報及びカメラ画像を活用した建設現場の安全管理	医療・移動・防災	・位置情報とともに360度カメラの映像と写真を定期観測し、危険個所の解析と共有や工事記録や出来高管理を実施	—
㉑	AI映像解析を活用した建設現場の安全安心の実現支援	医療・移動・防犯・防災	・現場作業における危険な状態や不安全行動をカメラの映像や各種センサデータなどを活用したAI解析及び検知技術により建設現場の安全安心を実現	—

No	先端的サービスの名称	対象分野	サービスの内容	関連する規制・制度改革事項（新たな規制改革の提案、既存の国家戦略特区の特例措置の活用）
1 ヒューマンデータ利活用に資するプラットフォームの提供				
①	ヒューマンデータとAI分析等によるエビデンスに基づく健康増進プログラム	医療・介護（健康） エンタメ・アート 他	うめきた2期地区を訪れるワーカー、買物客、観光客、公園利用者等のヒューマンデータ（心理、生理、脳情報、行動など）を本人同意のもと取得し、先進的なサービスや製品開発を志向するサービス事業者に、当該データを提供するヒューマンデータ基盤を構築する。	- データ利活用やエビデンスに基づく健康増進サービス利用にかかる健康保険の適用【健康保険法】 - 厚労大臣認定健康増進プログラムの医療費控除適用について、都市湯治の場合の利用日数要件の緩和【所得税法】【法令解釈通達（平成2年3月23日付健医発第393号照会に対する回答）】
②	ヒューマンデータに基づき、その精神状態に適合したエンターテインメントをリアル空間・バーチャル空間を融合した世界で提供		「うめきた 2 期地区」のミラーワールドを構築し、MR技術により現実と重ね合わせることで、絶景・癒し・ホラー等、多種多様なテーマの世界の体験を提供する。	
③	ビーコンによる日々の運動量や運動履歴、人流、位置情報等による健康増進支援		安価・軽量・電源長寿命なビーコンをシューズに内蔵することで、スマホ所有率が低い高齢者や子供にも広く利用可能な健康サービスを展開。日々の運動量や運動履歴、人流、位置情報等による健康増進支援や見守り、迷子の防止、災害時の避難支援等のサービスを提供する。	
2 パーソナルモビリティのシェアサービス				
④	パーソナルモビリティによるエリアの回遊性やラストワンマイルの移動快適性の向上	移動	うめきた2期地区を訪れるワーカー、買物客、観光客（インバウンド含む）、公園利用者等が、周辺最寄り駅からうめきた2期地区まで、また公園内を含むうめきたエリア周辺や他のビジネス・観光エリアに安全かつ円滑に移動ができるパーソナルモビリティのシェアリングサービスを提供する。	- 電動キックボードに対する保安基準の緩和を要望。具体的には、後写鏡（ミラー）や方向指示器の設置基準の緩和等【道路運送車両法】 - ヘルメットの着用や免許取得義務の緩和【道路交通法】 - 車道ではなく、自転車道や歩道の走行についての規制緩和【道路交通法】 ※サービス事業者候補において新事業特例制度を活用し、電動キックボードの自転車レーンを含む公道での走行実証を実施中

No	先端的サービスの名称	対象分野	サービスの内容	関連する規制・制度改革事項（新たな規制改革の提案、既存の国家戦略特区の特例措置の活用）
3 先端技術を用いた公園内・建物内における施設管理、配送などのマネジメント高度化				
⑤	画像解析を用いた施設管理（AIカメラやビーコン、センサー等）	施設管理 エネルギー 環境 防犯 防災 物流	AIカメラやセンサー等の先進技術により施設管理上把握すべき行動、駐車場満空情報、人流や混雑度等を解析し、施設管理者や市民、来街者、車利用者等へ情報提供することにより施設管理の効率化や来街者の利便性・回遊性の向上を図る。	（ドローン関連） 人口集中地区内であっても、スーパーシティ区域内での飛行を可能とすることを要望【航空法】
⑥	ICTを活用した「みどり」管理（ICT,ロボット等の活用）		ICT、ロボット等による自動化した質の高い夏芝・冬芝管理を行い、ヒートアイランド現象などの都市の温暖化の抑制や緑化「みどり」による質の高い滞在を実現する。	- 夜間飛行や目視外飛行、第三者（人・物）の30m未満、イベント上空等での飛行について規制の緩和【航空法】 - 道路上空飛行にかかる警察署長への許可手続きの緩和【道路交通法】
⑦	ICTを活用した設備・エネルギー管理（人の位置情報や環境情報を基にスマートな設備制御）		人の位置情報や環境情報(温湿度・気流)を元に、スマートな設備制御を実施、快適かつ省エネな利便性の高いエリアを実現する。人流やエリア内の情報を収集・分析し、設備(空調/照明/換気/昇降機等)の最適利用を予測し、適切に制御することで利用者の快適性を損なうことなく、省エネルギーな地域を構築する。	（自動走行ロボット関連） - 無人自動配送ロボットについて法的な位置づけがない【道路交通法】 （施設管理関連） - 先端技術の導入により設備故障等の検知や衛生的環境の確保等をより的確に行うことが可能となる場合における点検等周期の緩和【建築基準法】【消防法】【建築物における衛生的環境の確保に関する法律】
⑧	ICT（ドローン、ロボットなど）を活用したデリバリー・点検		ローカル5Gなどの通信と画像解析、認証ID等のICTを活用したデリバリーや、点検作業等におけるドローンの活用により、市民QOL向上、管理効率化を図る。	
4 リアルとデジタルの融合した都市空間＝Parknessを実現するためのDX推進 【プレイスメイキング編（B2C）】				
⑨	デジタルサイネージやLEDビジョン等を用いた感性をシェアする空間の創造	エンタメ・アート 支払い 行政	公園施設における多様な企業活動の展開や来街者が最先端の商品を購入・見学できる形でのユーザー体験の向上、公園におけるデジタルサイネージやLEDビジョン等を用いたインフォメーションや広告、アート展開（イマーシブミュージアム等）等の弾力的な運用等による感性をシェアする空間を創造する。	- 仮設興行場、仮設店舗等の仮設建築物を建築する場合に建築基準法の規定が一部緩和されているが、その緩和要件の拡充【建築基準法】 - 仮設興行場、仮設店舗などの仮設建築物を建築する場合における建築許可期間の緩和【建築基準法】

先端的サービスの詳細（その3）

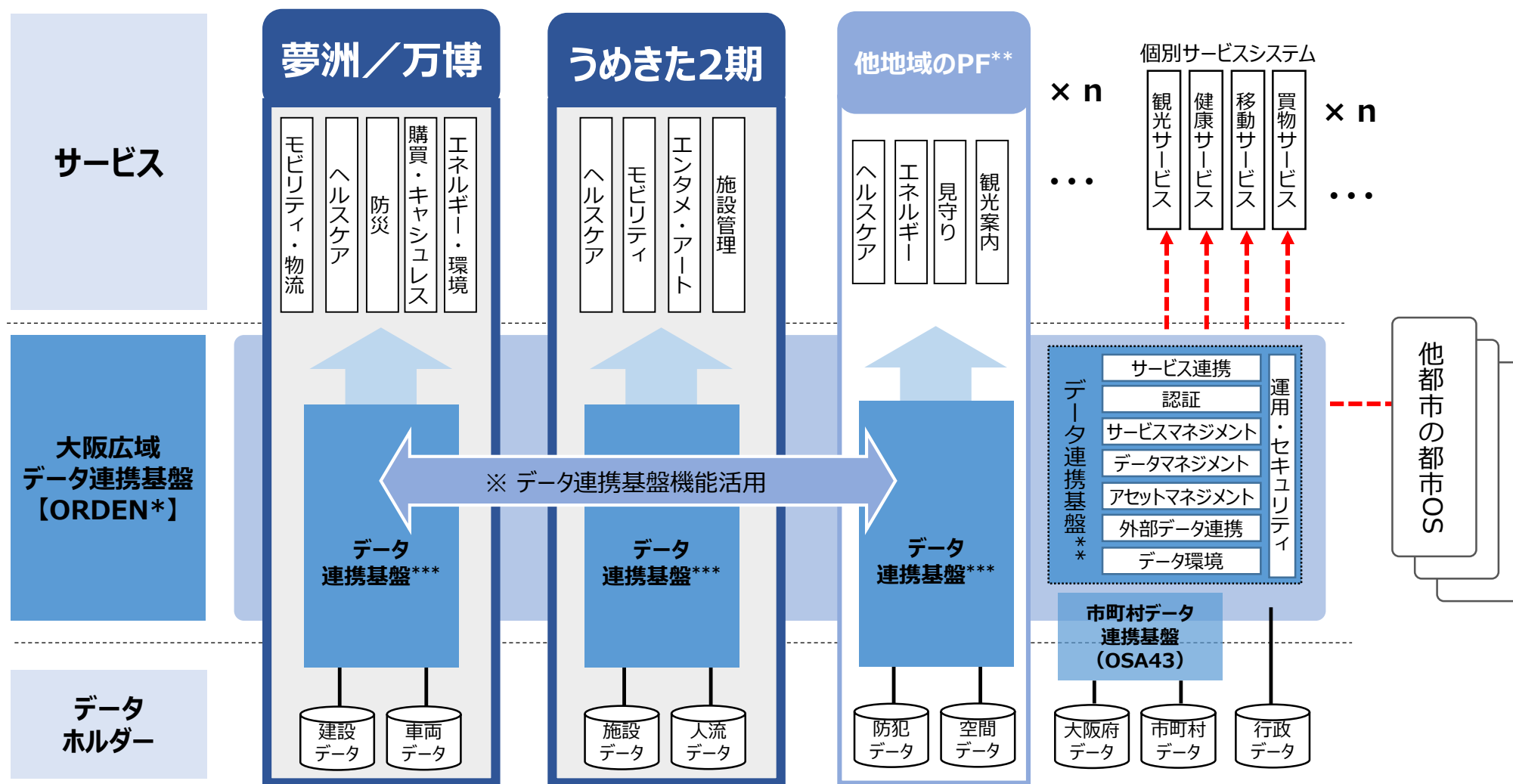
No	先端的サービスの名称	対象分野	サービスの内容	関連する規制・制度改革事項（新たな規制改革の提案、既存の国家戦略特区の特例措置の活用）
⑩	ミラーワールドを構築し、MR技術により現実と重ね合わせることで、絶景・癒し・ホラー等、多種多様なテーマの世界を体験	エンタメ・アート 支払い 行政	・ 「うめきた 2 期地区」のミラーワールドを構築し、MR技術により現実と重ね合わせることで、絶景・癒し・ホラー等、多種多様なテーマの世界の体験を提供できるイベントを検討する。	—
⑪	Social Goodな活動を行った会員に対し、公園で提供するサービスに利用できるポイントの発行		・ SDGsに向けた行動変容に向け、ボランティア等のSocial Goodな活動を行った会員に対し、公園でのサービスに利用できるポイントを発行する。	—
⑫	来街者に対する混雑状況等の提供		・ ユーザーに対し、公園施設の混雑状況、周辺イベント・天候・SNSでの話題性等の公開済のビッグデータやAIを用いたダイナミックプライシング等による需給に応じた利用料設定・レコメンドの仕組みを提供することで、知的生産性の向上や健康促進に向けた行動変容を促す。	—
⑬	都市公園の行為許可・占用許可等の行政手続きのオンライン化		・ 都市公園の行為許可や占用許可等の申請・許可に関わる行政手続きのオンライン化により、「ハンコレス・ペーパーレス・キャッシュレス」を推進する。	—
⑭	リアルタイム・オンラインサービスを支えるローカル 5 Gの整備		・ 多様なリアルタイム・オンラインサービスを支えるローカル 5 Gの整備を行う。	・ 現在免許制度としてローカル5G運用では認められていない「他者土地利用」について、エリア内で複数にまたがる所有区分を一つの区域として一体的にカバーする「広域的な利用（他者土地利用）」を可能とする運用の緩和【電波法】
5 リアルとデジタルの融合した都市空間＝Parknessを実現するためのDX推進 【屋外実証実験空間編（B2B）】				
⑮	先端的な技術や先駆的サービスを通じた「様々な体験価値」を市民や来街者に提供し、市民のQOL向上とライフデザインイノベーションを実現する仕組みの提供	医療・介護（健康） 環境 防災 エンタメ・アート	・ 多様な市民・来街者が集う都市型公園において、次世代のスポーツ・エンタメイベントを開催し、イベントに接して、支援し、参加することで、より多様なイノベーションと新たな価値を創出する。	⑨と同様

大阪広域データ連携基盤（ORDEN）

2つのグリーンフィールドにおけるスーパーシティの展開を機に 広域のデータ連携基盤を構築する

データ連携基盤

<再掲>



* ORDEN（オルデン）とは・・・Osaka Regional Data Exchange Networkの頭文字。

** PF：プラットフォームの略

*** 本図はORDENの完成型をイメージしたもの。各PF間の接続や、これらの地区毎等のPFとORDENの接続については今後、あり方を検討していく。

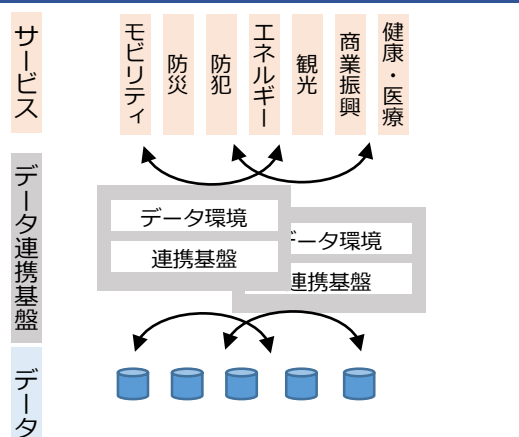
- ORDENは、グリーンフィールドで広域データ連携基盤の構築をどこよりも速く実装できることが強み。
- さらに、ブラウンフィールドで事業者ニーズに答え続けることを通じ、段階的にその付加価値を高める。
- 最終的にORDENが他エリアのデータ連携基盤の導入障壁を下げ、自律的なデファクト化をめざす。

Step 1

速く作る・整備する

グリーンフィールドから・・・

人口の多い大阪都市部グリーンフィールドで差別化の源泉となる
データを安心して効率的に利用できる環境を整える



サービス 再利用性の高いサービスを整備

データ 再利用・流通性の高いデータ整備

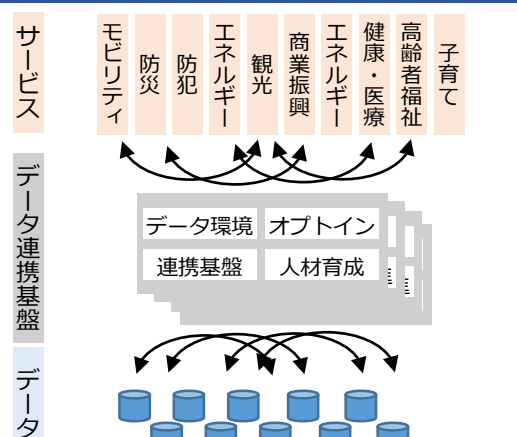
サービス事業者 先導的事業者が中心

Step 2

育てる・磨く

ブラウンフィールドへ・・・

ブラウンフィールドのDX化と事業者のニーズに答え続けることを通じ
価値がある利用サービス・データを増やす



住民QoLや事業者のイノベーションを加速するサービスの育成・実装

サービス事業者がサービス創出・価値UPできるデータの整備

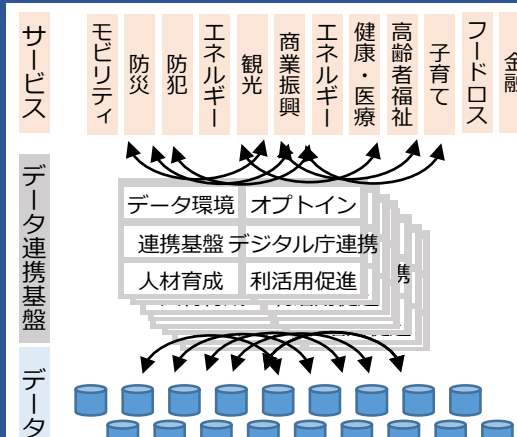
スタートアップ×大企業や地域の事業者が追随・誘致

Step 3

自律的に広がる

そして全国へ・・・

「使える」データカタログを強みに、
加速度的にデータ流通と利活用エリアを増やし、日本のデータ駆動型社会の基盤を担う



サービスの流通環境整備とか革新的なサービス創出環境の強化

データ環境、データカタログ強化、革新を促すデータ開発チャレンジ

幅広い分野の事業者がかかわる

データ連携基盤の整備ポイント

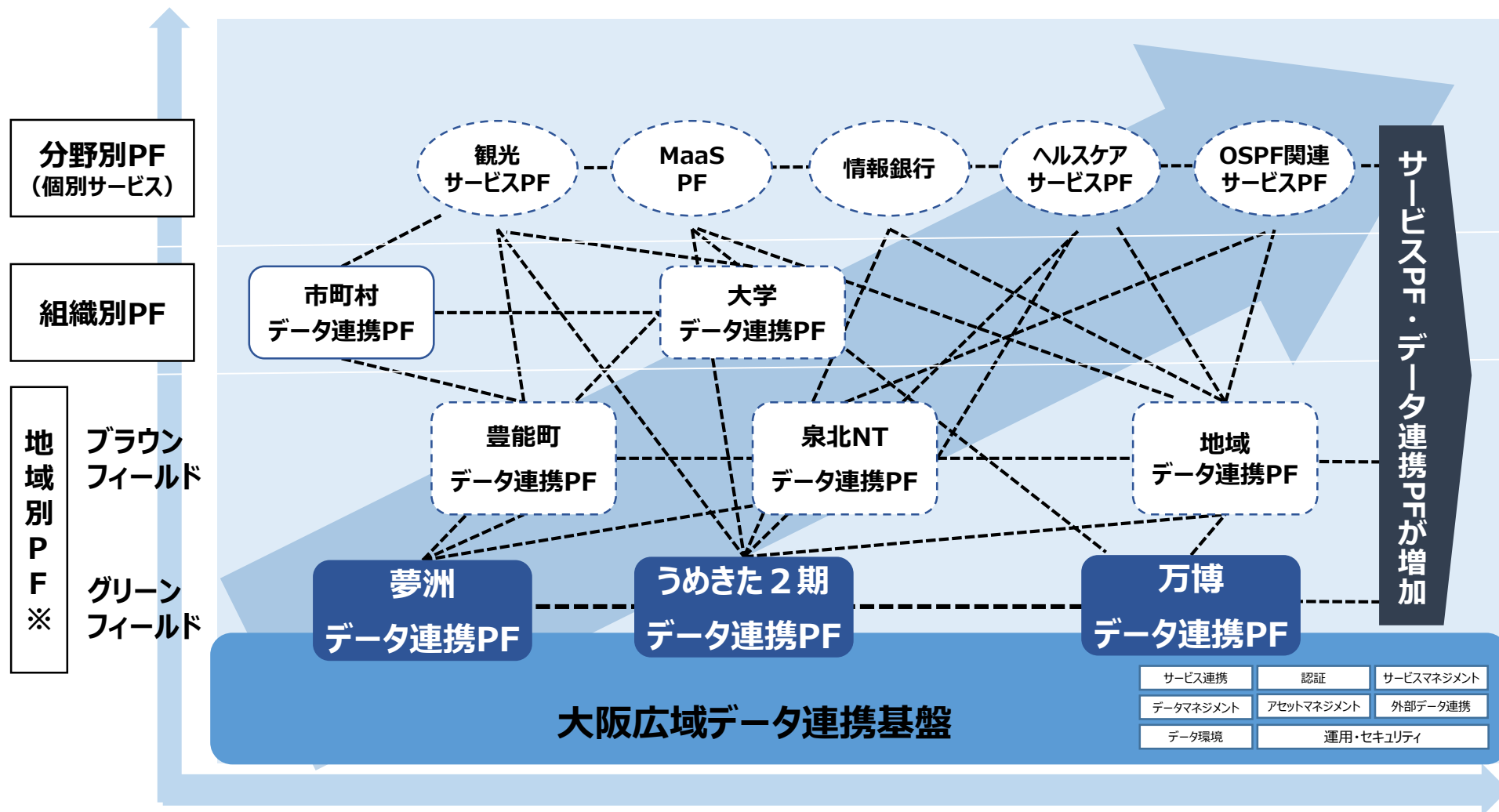
サービス

データ

サービス事業者

スーパーシティを機に広域データ連携基盤を構築し、 それを基に府域全体への展開を図る

大阪広域データ連携基盤のイメージ（時間軸と接続）



※ PFは、プラットフォームの略

注) それぞれのPFは、万博以外は構築後サービスを継続するため、プロットの位置はサービス開始時期を示す
なお地域別の他に、事業体別・分野別などもありうる。また、各PF間の接続や、これらの地区毎等のPFとORDENの接続については今後、あり方を検討していく。

- 大阪にはすでにスマートシティの実現に向け、産・官・学を問わず様々な推進体制が構築され、他都市を凌ぐ企業や大学の集積・連携というアドバンテージがある。（スーパーシティ推進の素地が既に存在）

